

新宮山彦ぐるーぷ第2134回

行仙宿く持経宿間の春季巡視と

熊野修験春峰（玉置山↓前鬼）の接待

◇実施日… 2021年5月29日（土）、30日（日）

晴

◇参加者 18名

順峰班：沖崎吉信、山本恭正、山川自知、岩本信行、大江加予子・

徳子、三井幹雄、野崎肇、アラン・モス、栗原真行

10名

逆峯班：梶野照雄、山川治雄、橋本梓、児嶋道夫、湯川一郎、山

口泰宏、畑林清子、生熊千満子 8名

池郷林道の通行止めで、白谷林道からのアクセスが必須となった。暫く通っていない白谷林道の状況調査や整備もあり、連休までこの区間の巡視はできなかったが、これまでの巡視完了区間に延べ21名のたくさんの方々に協力いただき、また事故、トラブルも無く終了したことに厚くお礼申し上げます。

【順峰班】

午前八時、白谷トンネル東口のNTT登山口に集合。10分ほど前にはほとんどのメンバーが集まった。体調が戻り久々の参加となる山口さんの顔も見える。行仙宿に前泊した梶野君も到着し、沖崎より本日の組分けや報告を行う。事前の情報で、倒木無し、登山道も異常なしとのことで、チェーンソーの持参なし。摩看板も担ぐ必

要がない。春季巡視中、一番荷物が軽い日となった。



NTT登山口に集合



登りだす



行仙岳山頂に着

熊野修験春峰（玉置山↓前鬼）が昨29日早朝に玉置山を出て、行仙宿に一泊。同日に三井、野崎、アランの3氏と梶野君、そして中前君が同宿して、夕食朝食をご用意いただいたようだ。行中であり、飲酒、大声は禁物という貴重な体験？をされたらしい。

行仙宿を早朝5時に出発された行者5名に、せめて持経宿で少しでも接待を、と思い果物、菓子、お茶を逆峯班に託した。

順峰班は午前8時丁度に登山口をスタートした。

この登りは久々のコースである。行仙宿小屋の建設時には荷揚げ道として何度通ったことか、大江さんや徳子ちゃんから聞きながら登る。鉄製の階段が連続して、足の運びは楽なのだが、これだけ続くことややがや苦痛である。小さな岩峰までやってきた、もう少しだ。先に行っていた岩本さんが降りてきて、大江さんのザックを持ってくれた。午前9時丁度、奥駈道出合に着く。予想通り一時間だった。

行仙岳山頂で三井、野崎、アランさんと合流してしばし休憩。行仙岳北側の階段が気になっていて、ゴールデンウィークに湯川、

山田のお二人に状況確認していただき、15〜20段位の改修が必要との報告を頂いていた。10年位前に鉄製のU字杭を山頂手前にデポしたことがあるので、それを使うつもりだったが、置いた場所が判らず、刺さった杭を数本抜いた時に、山川君が「ここにたくさんある」と杭を発見してくれた。発見した杭のうち12本を手分けして要補修個所に運んだ。今日はこの先靡看板の設置も無ければ、倒木の処理も無いはずである。



怒田の宿



俱利伽羅岳に到着



平治宿で休憩

三井、野崎、アランのお三方は前泊で荷物が多い所に、夕食と朝食が熊野修験のサポートから提供されたので、準備した食料の大半が持ち帰りとなって、ザックは重そうである。どうもアランさんの足の運びがぎこちない。

俱利伽羅岳の手前で後方から「大丈夫か」と大きな声が聞こえた。何かあったな、と思いつきに引き返すと、アランさんが足を滑らせて数メートル滑落していた。幸いすぐ下の木で停止して大事には至らなかったが、場所によっては停止しないこともあるので、常に慎重な行動が必要だ。以後ゆっくりと歩を進めて、10時55分俱利

伽羅岳山頂に着く。梶野君に無線を入れる。後10分位で着くとのことで、逆峯班の到着を待つて昼食とした。逆峯班の皆さんは元気で、倒木が無く作業は殆どしていないようだ。車のキーを預かり、児嶋さんのコーヒーも頂いた。小一時間の休憩の後、持経宿に向けて出発、32分で転法輪岳に着き、12時45分平治宿に着いて小休止。今日も参加してくださいました山本恭正君は、ここまでの道程、この先の道中も熊野の研究や勉強のため質問攻めである。大江さんは千年松の手前で櫛を採取して千年松のお堂と持経宿のお堂に供えて下さった。



持経千年松



持経宿に到着



登山口に戻る

午後2時少し前に持経宿に到着し、接待品を入れたクーラーボックスを見ると、中には何も残っておらず、全て食していただいたようだ。

「ご接待、ありがとうございました」と志まで入れて下さっていた。逆峯班の乗ってきた沖崎車と湯川車に乗り込み白谷トンネルの登山口に戻った。

俱利伽羅岳に着いて逆峯班を待っている間に栗原先生が現れた。行仙宿から我々の後を追ってきたらしく、以後持経宿まで順峰班の一員として歩き、補給路登山口に停めた愛車スクーター迄お送りした。(記：沖崎、写真：岩本)

行動タイム

白谷トンネル登山口 08:00→09:00 奥駆道出合→09:12 行仙岳
→09:28 怒田の宿→10:57 俱利伽羅岳→12:25 転法輪岳→12:55
平治宿→13:22 中又尾根分岐→13:53 千年松→14:05 持経宿→15:
06 白谷トンネル登山口

【5月29日】行仙宿前泊組

◇参加者：梶野照雄、三井幹雄、野崎肇、アラン・モス、中前偉
30日の行仙宿へ持経宿の巡視のため、行仙宿に前泊することになった。



三井さん等が先行



お堂前に幟



夕食

午後4時50分、登山口に着くと三井さん等3人が登り始めるころだった。5分ほど話をして先行していただく。荷揚げ隊はまだ下山しておらず、モノレールは上がったままなので、歩いて登る。第2ベンチの少し上で降りてきた畑林さんと出会う。その後、生熊さん他4〜5人が降りてきた。午後6時少し前に行仙宿に到着、お堂前には幟が立てられ、熊野修験春峰一行は到着していた。早い夕食が始まったが、我々は少し時間を遅らせて食事することにした。食事を終えて寝床の割り振りど、到着した登山者一名の対応に当たるので、午後8時に発電機を止めてLED照明の数を減らし、5人で談笑。アランさんがワインを出してくださいさる。その後次々とおつまみが出て、小声ではあるが話は弾んだ。午後9時に消灯して眠りについた。室温は18℃だった。

行動タイム

登山口 16:50→17:57 行仙宿

【逆峯班】

午前4時に起床し、毛布を片付ける。サポートの女性陣は3時から準備を始めていた。食事を終え、出峰前にお堂で勤行、全員で心経を唱える。午前5時過ぎに一行5名が出発、一名は膝の故障でサポート隊と一緒に下山し、前鬼へ向かうことになった。我々は午前6時から朝食を始めた。6時半前にトレランの3名が小屋にやってきた。持経宿を4時前に出たらしいので、2時間半でここまで来たことになる。今日は本宮まで行くそうだが、このペースならまだ陽の高いうちに到着することだろう。6時50分、直接行仙岳に向

かう三井さん等3名に後を託し下山する。



午前4時過ぎに朝食

山上さんの遺影を前に勤行

出発前に

登山口に着いてモノレール荷台のカバーを掛け直し、着替えて白谷トンネルに向かった。白谷トンネル登山口には全員が集合していた。



トレランの3人



前泊組5名



下山

逆峯班は沖崎車、湯川車に8人が分乗して持経宿へ向かう。林道ゲートで橋本さんが鍵開けに挑戦するが、上手く鍵穴に鍵が差し込めず交代して開錠する。山口さんも「ここのは深すぎや」と言っておられた。沖崎さんの事前調査通り、落石は無く30分ちよつとで持経宿に着いた。熊野修験接待のスイカやお茶の入ったクーラーボックスを小屋前のテーブルに置き、児嶋さんがネジを切り直した発電機の燃料コックを取り付けた。この間約10分、すぐに平治宿に向かう。



持経宿に到着

燃料コックの取り付け

熊野修験一行と出会う

千年桧を通り越して5分ほど、前方に熊野修験一行が見えてきた。先行した生熊さんや畑林さんからクーラーボックスのことを聞いておられた。5人で行仙を出たはずなのに4人しかいない。柴田行者がひざを痛めて遅れているようだ。4人を見送って10分後、足を引きずった柴田行者と出会う。昨日も同じところが痛くなり、少し休憩したところ回復したようだが、今以上に悪化しないよう、自

分のペースで歩を進めるそう。法螺の音が2度聞こえて、千年松と持経宿での勤行が判る。途中2ヶ所で小休止、10時過ぎに平治宿に着く。小屋前のテーブルでチョコレートなどを頂き、5分ほど休憩し転法輪岳への長い登りを始めた。



転法輪岳に到着

本日の参加者、俱利伽羅岳で 支障木をノコで切除

25分ほどで転法輪岳に到着、真新しい碑伝が置かれていた。沖崎さんに無線で転法輪岳到着を伝える。順峯班の方が少し早いようだ。40分弱で俱利伽羅岳に着く。順峯班は栗原さんが増えて10人になっていた。狭い山頂だが、各自思い思いの場所で昼食、食後はコジマカフェも開店した。全員での写真を撮って、持経宿へ、行仙岳へとそれぞれ別れた。怒田の宿跡までに枯れ木や斜木5本をノコで切除した。この区間に大きな倒木が無い事は、連休中の登山者からの聞き取りで分かっていたので、私も山川さんもチェーンソーは担いでこなかった。行仙岳山頂から北側は順峯班が通過しているので、山頂には行かず捲き道を通じた。捲き道も以前と大きな変化は無

かった。このまま下山すると登山口で一時間近く待つことになるので、奥駈道出合で大休止する。



怒田の宿



奥駈道出合で



駐車地に戻る

暫く座っていたが、小虫がしつこく寄ってくるので、下山を始めた。階段の下りは膝への負担が大きいため、急がずゆっくり降りる。2時25分、登山口に下山した。帰り道、前鬼に立ち寄る。五鬼助さんが入院していたのは聞いていたが、奥様までもが入院していたことを聞いて少々心配になり、ご機嫌伺に立ち寄った。午後5時前に小仲坊に着く。マキの整理をしていた五鬼助さんに挨拶し、入院の顛末をお伺いした。宿泊所の大広間に行くと山上さんの奥様と娘さんがいらして、しばらくお話をさせて頂いた。宿坊に移動して三津子さんにお話を伺う。五鬼助さんの入院で疲れとストレスがあり、体調を崩されたようだ。三津子さんは私と同年齢なので、お元気な姿が見られてホッとした。



小仲坊に着く

山上さんの奥様と娘さん

熊野修験一行到着

山上さんの奥様が熊野修験の到着をお待ちちなので、このまま帰ることもできず、到着まで小仲坊で待つことにした。



お堂で勤行

遅れた柴田行者を出迎える

熊野修験一行

午後6時頃には到着するだろうと考えていたが、6時少し前に法

螺の音が聞こえて到着が確認できた。花井先達を先頭に行者4人と出迎えに行った高木智英氏が降りてきた。やはり柴田行者は遅れている。到着した行者はお堂で勤行、小仲坊の宿泊者約10名も初めてである。行者の勤行に興味津々だ。花井行者は山上さんの奥様と話し、行中を通して供養を行ったと報告された。

太古の辻まで迎えに行った小山さん等2名が降りてきた。太古の辻まで休まず2時間で登ったので、大変疲れたそうだった。

先頭が到着して30分後、柴田行者が足を引けずながら降りてきた。下りの階段が続くので、かなり痛そうである。

お堂で再び勤行、「私のせいで、2度も勤行していただき申し訳ない」と平身低頭である。

全員が無事に到着し、それぞれが帰り支度を始めたのを見届け帰路に着いた。(記：梶野)

行動タイム

行仙宿 06:50→07:50 白谷トンネル登山口→08:40 持経宿→10:08 平治宿→10:34 転法輪岳→11:12 俱利伽羅岳 11:45→13:09 怒田の宿→13:22 奥駈道出合→14:25 白谷トンネル登山口

本日の行仙宿〜持経宿間の巡視で、前鬼から山在峠間の奥駈道春季定例巡視は完了しました。令和3年度の春季巡視は

2月 7日 (日)	浦向道	17名
2月 28日 (日)	玉置神社〜21世紀の森	17名
3月 14日 (日)	行仙宿〜東屋岳	20名
4月 11日 (日)	21世紀の森〜東屋岳	10名

4月18日(日)	玉置辻↷山在峠	15名
4月24日(土)	25日(日) 持経宿↓前鬼	6名
5月3日(月)	4日(火) 笠捨山捲き道と地藏岳捲き道	19名
5月30日(日)	行仙宿↷持経宿	18名